

最近、聞こえにくい

と感じることはありませんか？



補聴器購入費を助成します

日常生活でこんなことは
ありませんか？

自転車や車が、
近くに来ていることに
気づかなくて驚いた。

家族にテレビの音が
大きいと言われたことがある。

電話で相手の声が
うまく聞き取れない。

病院の待合室等で呼ばれても
気づかないことがある。

加齢性難聴は早めに
自覚することが大切です

年を重ねて、「聞こえにくさ」を感じるのは仕方ないことだとあきらめてしまう人も多いのではないのでしょうか。

最近聞こえにくいかもと感じたときにどう行動するかで、その後の「聞こえの快適さ」が変わってきます。

適切に対応することが
今後の生活を快適に送る
うえで必要です

聞こえにくさを放っておくと、会話をするのが億劫になり、コミュニケーションが少なくなったり、社会との関わりが減ったりすることで、認知機能に影響が出る可能性があります。また、車の音などに気付かず、事故の危険もあります。

耳鼻咽喉科を受診し、補聴器が有効であるか診断してもらいましょう。

あなたの聞こえは大丈夫ですか？ まずはご自身の聞こえの状態をチェックしてみましょう

聞こえのセルフチェック

(出典 一般社団法人日本補聴器販売店協会「はじめての補聴器」)

- 会話をしているときに聞き返す。
- 見えないところからの車の接近に気づかない。
- 後ろから呼びかけられると気づかないことがある。
- 電子レンジなどの電子音が聞こえない。
- 聞き間違いが多い。
- 耳鳴りがある。
- 話し声が大きいと言われる。



いくつ当てはまりましたか？

- 1～2個 …… 日常生活でお困りのことがあれば耳鼻咽喉科を受診しましょう。
- 3～4個 …… 耳鼻咽喉科で相談してみましょう。
- 5個以上 …… 早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。

聞こえにくいと感じたら、自分の判断で補聴器を購入するのではなく、耳鼻咽喉科医を受診し補聴器が有効であるか診断してもらいましょう。耳の疾患や耳垢が原因の場合は、治療や耳の掃除をすると聞こえがよくなる場合もあります。

補聴器購入費助成のご案内

補聴器をこれから購入される場合に、費用の一部を助成します。

対象者 ※以下の要件をすべて満たす方

- 1 満65歳以上の江戸川区民の方
- 2 住民税非課税の方、または住民税課税で区民税所得割額が年 46 万円未満の方
※本人のみの状況。申請受付日(4/1 ~ 6/30 は前年度の課税状況)で判断。
- 3 聴覚障害による身体障害者手帳を所持していない方
- 4 耳鼻咽喉科の医師から、本制度の所定の基準(※)を満たしており、補聴器が必要と認められた方 ※所定の基準は、区 HP でご確認ください。
- 5 過去5年以内にこの制度による助成を受けていない方

助成内容

補聴器本体の購入費用の一部を助成します。検査、集音器や付属品の購入、メンテナンス等の費用は対象とはなりません。

※事前申請が必要です。区の助成決定前に購入した補聴器は助成対象外です。

助成上限額

住民税非課税の方 40,000 円
住民税課税(※)の方 20,000 円 ※区民税所得割額が年 46 万円未満

申請書類

- 1 高齢者補聴器購入費助成申請書(医師の証明欄あり)
- 2 オーディオグラム(純音聴力検査表、3 か月以内のもの)
※以下は基準日の課税状況が江戸川区で確認できない方のみ
- 3 住民税(非)課税証明書など非課税または区民税所得割額がわかる書類

申請書配付・受付窓口

熟年相談室・健康サポートセンター
介護保険課窓口(江戸川区役所本庁舎南棟2階2番)

※郵送または電子申請も可能です。

電子申請の場合、郵送等で医師の証明とオーディオグラムの提出が別途必要です。



江戸川区
ホームページ

問い合わせ・
送付先

江戸川区 福祉部 福祉推進課 孝行係 電話:03(5662)0314
〒132-8501 江戸川区中央1-4-1

詳しくは区ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

手続きの流れ

1 申請書を受け取る

お近くの熟年相談室や健康サポートセンター、区役所介護保険課窓口(2階2番)で配付。江戸川区ホームページからも入手できます。

2 耳鼻咽喉科を受診

聴力検査を行い、医師から補聴器が必要と判断された場合、申請書に医師の証明をもらい検査結果を受け取る。

3 申請書を提出

申請書と必要書類を申請窓口へ提出する。郵送申請の場合は福祉推進課孝行係へ送付。

4 決定通知の受け取り

助成対象の決定通知と請求書を区役所からお送りします(申請後2週間程度)。

5 補聴器の選定

補聴器は購入しただけでは効果的に使用することはできません。一人ひとりの聞こえ方に応じて補聴器の調整を受けることが大切です。購入後も不具合の調整や使用トレーニング、ケアをすることが必要です。

長いおつきあいになることをふまえて、専門知識・技能を持ち、気軽に相談することができる補聴器販売店で購入することをお勧めしています。

◆認定補聴器技能者について

補聴器の使用目的、使用環境、希望価格等について相談に応じ、補聴器の調整や効果の確認などを適切に行うことのできる、専門的な知識及び技能を習得した補聴器適合の専門の資格です。



公益財団法人テクノエイド協会
認定補聴器技能者検索システム

6 補聴器を購入

補聴器を購入し、領収書を受け取る。

※領収書の宛名は申請者本人に限ります。

7 請求書を提出

補聴器の領収書及び保証書の写しを添付して請求する。

1か月程度で振り込まれます。

※請求期限は助成対象決定日から6か月以内です。